

Weekly Reports 2022-2023



国際ロータリー第2680地区

Rotary
加古川ロータリークラブ



2022-23年度RI会長: ジェニファー・E. ジョーンズ地区ガバナー: 阪上 栄樹
加古川ロータリークラブ会長: 芝本 忠雄 / 幹事: 木下 正隆
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和4年12月6日(火) 晴 No. 20



▲会長挨拶



▲誕生日祝



▲結婚記念日祝



▲出席表彰

会長の時間

会長 芝本 忠雄

皆様、こんにちは。

いよいよ師走を迎え、北日本からは初雪の知らせが届き、冬が到来してきました。朝晩の冷え込みは特に気を付けて戴きたいと思います。またコロナ禍の第8派の緩やかに感染者が増え続けておりますし、インフルエンザの流行の兆しもございますので、どうぞご自愛ください。

さて、ロータリー活動ですが、今月は「疾病予防と治療」月間となっております。我が加古川クラブには、医師、歯科医師と医療従事の会員が10名在籍されており、日頃より疾病予防と治療にあたられており、敬意を表したいと思います。疾病予防と言いますとロータリー活動では、何といたってもポリオ根絶推進活動としてのワクチン接種です。また、コロナウィルス感染症に対処するためのワクチン接種も疾病予防です。RIのいう「疾病予防と治療」の活動は、地域での医療活動に配慮し、ロータリー財団の基金を活用し、地域の医療活動に役立ててほしいというものです。職業奉仕の観点からも日頃の医療活動の中で考察戴き、助言戴ければ幸いです。

因みに私なりに理解を深めるために「疾病予防と治療」について調べてみました。イン

ターネットでの受け売りですが、分かり易いのでお聞きください。

医学の中で、病気になったら治すという「治療医学」に対して、病気にならないように予防する「予防医学」があります。そして一次予防、二次予防、三次予防は、「予防医療」から出てきている言葉です。「予防医学」では、病気を予防するだけでなく、より広い意味で、疾病予防、障害予防、寿命の延長、身体的・精神的健康の増進を目的としており、病気を未然に防ぐだけでなく、病気の進展を遅らせること、再発を防止することも予防であるとされています。

もう少し掘り下げますと、まず、第一次予防には健康増進、疾病予防、特殊予防があり、生活習慣の改善、生活環境の改善、健康教育による健康増進を図り、予防接種による疾病の発生予防、事故防止による傷害の発生を予防することです。

次に第二次予防ですが、早期発見、早期対処、適切な医療と合併症対策があり、発生した疾病や障害を検診などにより早期に発見し、早期に治療や保健指導などの対策を行い、疾病や障害の重症化を予防することです。

第三次予防は、リハビリテーションで、治療の過程において保健指導やリハビリテーション等による機能回復を図るなど、社会復帰を支援し、再発を予防することです。

「予防とは、前もって悪い事態にならないように防ぐこと」ということを頭において、それぞれの分類を見ていくと、言葉の意味が理解しやすいのではないのでしょうか？

ここに第101回の看護師国家試験の問題があります。次に上げるうち第一次予防はどれかという問題です。四者択一で、大変分かり易いので今から読み上げますので、考えてみてください。「一次予防はどれか？」という問題です。

- 1.労働者のがん検診
- 2.精神障害者の作業療法
- 3.脳卒中患者の理学療法
- 4.性感染症予防のためのコンドームの使用

- 答えは、1. 早期発見・早期治療により病気を防ぐ、二次予防である。
2. 症状の進行を防ぎ、機能回復を目指す、三次予防である。
3. 症状の進行を防ぎ、機能回復を目指す、三次予防である。
4. 病気の発生を未然に防ぐ、一次予防である。

正解は… 4

以上ですが、まず、第一に病気を未然に防ぐ。第二に初期段階で見つけて、対処する。第三にかかってしまった病気の親交を食い止め、回復を目指す。よく考えると当たり前のことですが、如何だったでしょう？

この例会にも多くの先生方がいらっしゃるのに、素人の私の浅はかな受け売りをお話させて戴きましたことお許しを戴きたいと思います。

さて、本日は、いよいよ次年度理事を選出して戴く総会を開催させて戴きます。単年度制のロータリークラブでの毎年運営に関わる理事の選考ですので、次年度釜谷会長予定者、吉田幹事予定者と一年を共にするメンバーを選出戴ければと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

この後の今月の予定ですが、来週は地区ガバナー補佐がお越しになっての会員卓話です。そして17日土曜日には、年内最後の例会として、久しぶりに家族を交えての家族例会となっております。

これで会長の時間を終わらせて戴きます。本日もよろしくお願ひ申し上げます。

幹事報告

- 1) ロータリーレート変更のお知らせ
12月1日より1ドル138円(現行148円)
- 2) ☆他クラブニュース 例会変更のお知らせ
高砂RC ◇1月13日(金)→休会[定款第7条第1節(d)]
◇1月27日(金)→1月28日(土)東播第2グループI. M.
於;ウエディングパレス鹿島殿
- 3) BOX に東播第2グループI. M. のご案内を入れております。ご出欠について受付備忘録にご記入をお願いします。
- 4) 本日例会終了後、B1 特別室に於いて12月度の理事会を開催します。

定例理事会

《審議事項》

- 1) 令和5年1月・2月プログラムに関する件
原案通り承認。
- 2) 次年度理事選挙に関する件
別途開票結果、総会議事録通り承認。
- 3) 親睦旅行収支決算に関する件
原案通り承認。
- 4) 【END POLIO NOW】募金キャンペーン収支決算に関する件
原案通り承認。
- 5) 古庄 恵浩氏(BAN-BANネットワークス株式会社)推薦に関する件
推薦手続きを進めることで承認。
- 6) インフォーマルミーティングに関する件
1/31(火)、2/2(木)、2/7(火)、2/9(木)、2/14(火)、2/16(木)に
実施することで承認。
- 7) 複合機リースに関する件
原案通り承認。

議会議事録

日時・場所:令和4年12月6日(火)例会場
次年度副会長 大庫 隆夫
次年度副幹事 山本亜也夫

以上17件 ¥24,000-
 また、12月のお祝いを受けられた方々より ¥36,000-
 ¥60,000-
 本年度累計¥1,050,000-

出席委員会

- ☆ 今 週 会員数 72 名 出席 35 名 出席免除 15 名 欠席 21 名
- ☆ 欠 席 者 省略

- ☆ 前 々 週 会員数 71 名 出席 47 名 出席免除 13 名 欠席 11 名
- ☆ メークアップ 社会奉仕セミナー 12/3 久後
 環境の保護小委員会「ミツバチ勉強会」12/4 芝本

親睦活動委員会

例会場当番
 12月13日(火) 大辻、西井
 12月17日(土) 衣笠、中尾



プログラム委員会

本日12月6日(火)	12月13日(火)	12月20日(火)	12月27日(火)
総会 クラブ協議会 次年度 理事選挙	卓話 「明治初年の貨幣 事情、祝鉄道開業 150年」 大庫担当	例会変更 (日時・場所変更) 年末家族例会 17日(土)午後6時～ 於;加古川プラザホテル ロータリー家族委員会担当	例会取りやめ [定款第7条 第1節(d)]

* * * * * 1月プログラム * * * * *

月 日	行 事	備 考
1月 3日(火)	例会取りやめ	[定款第7条第1節(d)(1)]
1月10日(火)	新年例会	
1月17日(火)	クラブ協議会	前半期の報告
1月24日(火)	優良職業人表彰	職業奉仕委員会担当
1月28日(土)	東播第2グループI. M.	於;ウエディングパレス鹿島殿 ホスト:高砂青松RC
1月31日(火)	卓話	

行事の報告

11/5.6 加古川楽市【END POLIO NOW】募金キャンペーンブースお手伝い
 石川ロータリー財団委員長、橘ロータリー財団委員、鈴木、浅井、山本正、金田

国境なき調停者団インターナショナルとの協力

永続的な変化をもたらすためのカギは、人びとを中心とし、地域社会全体が関与するプロセスを通じて紛争に対応することです。これは、ロータリーと国境なき調停者団インターナショナル (MBBI) とのパートナーシップの基礎となっているアプローチでもあります。

MBBI は、世界中のロータリークラブや地区と協力し、平和構築のための活動を行っています。この協力関係において、MBBI は地域社会の協力とエンパワメントに基づく調停プロセスの専門知識を提供する一方、ロータリーは、信頼と信用、地元根ざした知識を提供します。

このパートナーシップでは、困難な状況における対話の機会を設け、その対話を導くことのできるリーダーを養成しています。特に、調停と平和構築における女性のリーダーシップの強化に力を入れています。

「これは相乗効果をもたらす」と、MBBI の創設メンバーでロータリー平和フェローのスコット・マーティンさんは話します。「私たちは、『ほかに誰を含める必要があるか』を考え、紛争の影響を受けた当事者が互いの人間性や自分自身を理解し、対話できるよう手助けします。それが命を救うことにつながるからです」

MBBI はまた、クラブと定期的に協力し、より内面的な部分に焦点を当てる「平和のための対話促進プログラム」(PCF)を実施しています。このプログラムは、会員が繊細なテーマについて話し合い、それぞれの地域社会に影響を与える問題について合意を形成するのに役立っています。

「人は、同じ問題について情報を得ても、それぞれ異なる理解をするもの」とマーティンさんは話します。MBBI は、クラブが問題について話し合うだけでなく、関係者全員にとって健全かつ生産的な活動を行えるようサポートできます。

人なら誰しも対立を経験するものだと言及するマーティンさんは指摘します。重要なのは、対立を無視したり避けたりするのではなく、対立と向き合い、暴力に発展しないよう対応し、そこから学ぶこと。そうすることで、紛争を引き起こすエネルギーが、より包括的で建設的な交流へと変わり、最終的には、より安全でつながりのある、より豊かな地域社会が実現するのです。

この考え方は、紛争の影響を受けた人びとやビジネスリーダーと共に活動し、地域社会全体と協力することを重視するロータリーのアプローチと合致するものだと言及するマーティンさんは話します。「ロータリーの新しいビジョンには感銘を受けています。このビジョンは、私たち自身と地域社会に変化をもたらすものです。私たちは、そのインパクトを測定することもできます」

MBBI との協力に関心があるクラブは、ripartner@mediatorsbeyondborders.org までお問い合わせください。